受験番号			技術部門:
問題番号			選択科目:
答案使用枚数	枚目	枚中	専門とする事項:

																					1		
<u>1</u> .	適	切	に	建	設	工	事	が	実	施	さ	れ	る	環	境	づ	<	り	推	進	の	課	題
1.	1	次	世	代	^	の	教	育	訓	練	_												
	建	設	業	従	事	者	の	3	7 %	は	. [5 5	歳	以	上	で	あ	ŋ	`	2 9	歳	以	下
の	若	手	人	材	は		1 2	%	と	少	な	٧١	0	熟	練	者	の	大	量	退	職	に	ょ
り	そ	の	技	術	が	失	わ	れ	`	建	設	エ	事	の	品	質	が	低	下	す	る	可	能
性	が	あ	る	0	Ĺĭ	の	た	め	`	熟	練	者	の	技	術	を	次	世	代	の	担	V	手
に	継	承	さ	せ	る	ſĭ	と	が	求	め	Ç,	れ	て	V	る	0	よ	つ	て	\	人	材	の
観	点	カゝ	Ġ	次	世	代	^	の	教	育	訓	練	が	課	題	で	あ	る	0				
1.	2	発	注	方	式	の	改	善															
	国	発	注	工	事	の	入	札	の	不	調	不	落	i l'a	t 4	乙均	j -	Ci Ci	1 0	%	程	度	発
生	し	て	お	ŋ	,	事	業	の	遅	れ	に	繋	が	つ	て	٧١	る	0	<u>入</u>	札	者	は	資
材	価	格	上	昇	等	に	備	え	た	予	備	的	経	費	を	見	積	り	に	計	上	す	る
	方	で	`	発	注	者	は	そ	の	詳	細	を	把	握	す	る	す	べ	が	無	٧١	0	ے
れ	に	ょ	ŋ	\	両	者	の	価	格	が	乖	離	す	る	J.	ځ	が	不	調	不	落	の	要
因	の	1	つ	で	あ	る	0	٢	の	た	め	\	適	切	な	予	備	的	経	費	を	予	定
価	格	に	反	映	で	き	る	発	注	方	式	が	求	め	Ġ	れ	て	٧١	る	_①	0	よ	つ
て	`	仕	組	み	面	の	観	点	カュ	Ġ	`	発	注	方	式	の	改	善善	が	課	題	で	あ
る																							

- ① 予備的経費は一つの要因にすぎないので、これのみを焦点化することに違和感があります。見積も りと予定価格の乖離をなくすことが求められているのではありませんか。主従が逆になっているよ うに見えます。
 - →「入札者は資材価格上昇等に備えた予備的経費を見積りに計上するが、発注者の予定価格にこの ような経費は計上されないことから、不調不落の要因の1つとなっている。このことから、受発注 者間の価格乖離を解消する取り組みが求められている。」

受験番号			技術部門:
問題番号			選択科目:
答案使用枚数	枚目	枚中	専門とする事項:

- ② 価格の話をしているので、積算の話題にも触れておいた方が良いと思います。
 - →「市場に即した積算手法を含めた発注方式の改善」

1.	3	建	設	工	事	の	D	X 1	<u> </u>														
	建	設	業	の	時	間	外	労	働	規	制	の	開	始	に	伴	٧١	`	従	来	の	ょ	う
に	労	働	集	約	型	•	長	時	間	労	働	で	エ	期	に	間	に	合	わ	せ	る	働	き
方	は	で	き	な	<	な	つ	た	0	建	設	: 業	E O)第	扩 值	助 <u>/</u>	Ė Ž	奎 作	生	t j	周	去	2 (
年	で	1	. 1	倍	程	度	の	成	長	に	留	ま	つ	て	お	ŋ	,	現	状	0	ま	ま	で
は	1	ン	フ	ラ	整	備	0	遅	れ	が	懸	念	さ	れ	る	0	۲	の	た	め	,	デ	ジ
夕	ル	技	術	を	活	用	l	た	資	本	集	約	型	の	働	き	方	に	切	ŋ	替	え	
生	産	性	を	向	上	す	る	٦	ح	が	求	め	Ġ	れ	て	い	る	_3	0	よ	2	て	`
生	産	性	の	観	点	か	ら	`	建	設	工	事	の	D	X 1	上 7	ðš į	果	題 ~	でる	5 7	る。	
																						\vdash	

③ このパラグラフに「生産性」が何度も登場するので、ここでは「デジタル技術を活用した資本集約 型の働き方に切り替える必要がある」としてはいかがでしょうか。

																								1
<u>2</u> .	最	重	要	課	題	ح	解	決	策	_														
	私	は	D	X	に	よ	る	生	産	性	の	向	上	が	最	重	要	課	題	ح	考	え	た	,
理	由	は	`	D	X	ツ	_	ル	は	急	速	に	普	及	し	て	お	ŋ	`	早	期	の	課	
題	解	決	が	可	能	な	た	め	で	あ	る	0	以	下	に	解	決	策	を	述	ベ	る	0	
<u>2</u> .	1	ВІ	M /	СІ	M	の	活	用	_															
	フ	П	ン	<u>۱</u>	П	_	デ	イ	ン	グ	を	実	現	し	施	エ	時	の	仕	様	変	更	を	
最	小	化	す	る	た	め	に	`	В 1	M /	(C]	M	を	導	入	す	る	0	施	工	段	階	で	L
0	修	正	設	計	を	生	じ	さ	せ	な	Ų١	た	め	に	`	設	計	時	に	{	3 D	モ	デ	L
ル	を	活	用	し	た	鉄	筋	の	干	渉	や	ク	IJ	ア	ラ	ン	ス	の	チ	エ	ツ	ク	を	
<u>行</u>	う	4	0	5	関	係	者	間	の	意	思	決	定	を	迅	速	化	す	る	た	め	に	` `	

受験番号			技術部門:
問題番号			選択科目:
答案使用枚数	枚目	枚中	専門とする事項:

3 D	Ŧ	テ	ં /ો	13	一時	計間]	1 を	: 加	1 え	た	-	4 D	モ	デ	ル	を	作	成	し	,	施	工
上	の	課	題	を	可	視	化	す	る	0	6	事	故	発	生	に	よ	る	工	事	の	停	止
を	防	止	す	る	た	め	に		`	施	工	現	場	を	A	A R	空	間	に	再	現	し	た
デ	ジ	タ	ル	ッ	1	ン	を	構	—— 築	し	`,	作	業	員	に	危	険	笛	所	を	教	育	す
る	0																						
					_							\vdash											_

- ④ 具体の説明に入っているので、「具体的には」といった接続詞を入れると良いでしょう。また、表 現が冗長的です。
 - →「具体的には、RC 構造物を検討に当たり、3D モデルを活用して鉄筋の干渉やクリアランスのチ エックを行うことで、施工段階での修正設計を抑制する。」
- ⑤ 文脈を明確化するために、接続詞を入れましょう。
 - →「また、」
- ⑥ ⑤と同様。
 - →「さらに、」
- ⑦ 教育の目的は、工事停止を防止するという目的でなく、事故を防ぐことが一義的な目的ではありま せんか。ただし、これを目的にすると少し論点がずれるので、効率的なといった文言を添え、生産 性の向上に資する取り組みであることを示唆すると良いでしょう。
 - →「さらに、労働災害を防止するため、・・・構築し、効果的かつ効率的な KY 活動を実施する」

<u>2</u> .	2	施	工	の	オ	l	1	メ	Ţ	シ	77	ン	化										
	土	エ	の	生	産	性	を	向	上	す	る	た	め	に	`	施	エ	を	オ	_	<u>۲</u>	メ	
シ	3	ン	化	す	る	0	具	体	的	に	は	`	Li	D A	R	Þ	G N	S S	セ	ン	サ	に	よ
ŋ	取	得	さ	れ	た	現_	地	_8	デ	_	タ	を	元	に	`	建	設	機	械	の	運	転	制
御	や	緊	急	停	止	を	自	律	的	に	行	う	技	術	を	導	入	す	る	0	9	従	来
は	オ	~	レ	_	タ	の	五.	感		に	よ	ŋ	判	断	し	て	11	た	操	作	を	`	環
境	認	識	機	能	を	有	し	た	A	Ι	で	代	替	す	る	2	と	で	自	律	化	を	実

	******	, i	
受験番号			技術部門:
問題番号			選択科目:
答案使用枚数	枚目	枚中	専門とする事項:

現しずしるし。

- ⑧ 現地データではどのようなデータなのか分かりません。
 - →「地形」
- ⑨ →「導入に当たっては、」
- ⑩ →「感覚」

<u>2</u> .	3	新	技	術	の	活	用	に	ょ	る	施	工	管	理	0	省	人	化	_				
	施	エ	管	理	に	必	要	な	人	員	を	減	5	す	た	め	に	`	新	技	術	_@	を
活	用	す	る	0	例	え	ば	,	従	来	は	3	人	が	か	ŋ	で	計	測	•	記	録	し
て	\ \	た	配	筋	検	査	を	,	カ	メ	ラ	画	像	解	析	で	代	替	す	る	0	配	筋
を	ス	テ	レ	オ	撮	影	l	て	鉄	筋	径	P	ピ	ッ	チ	を	自	動	計	測	す	る	技
術	で	あ	ŋ	_,	1	名	で	の	対	応	が	可	能	に	な	る	0						
																						-	

- Ⅲ 新技術では、さすがに抽象的です。
 - →「画像解析技術」
- ② 効果を説明しているので、要因として書いた方が良いでしょう。
 - →「できるため」

<u>3</u> .	新	た	に	生	じ	う	る	IJ	ス	ク	と	対	策										
3.	1	新	た	な	IJ	ス	ク	_															
	D	X	に	あ	た	つ	て	は	民	間	の	ク	ラ	ウ	ド	等	の	共	通	基	盤	を	使
用	し	て	٧١	る	0	民	間	の	ク	ラ	ウ	ド	サ	ļ	ビ	ス	に	障	害	が	発	生	す
る	٤	`	エ	事	の	遅	延	\$	事	故	が	発	生	す	る	IJ	ス	ク	が	あ	る	0	
<u>3</u> .	2	対	策	_																			
	複	数	の	ク	ラ	ウ	ド	に	シ	ス	テ	ム	を	導	入	し	`	障	害	発	生	時	に
は	切	り	替	え	る	IJ	と	で	IJ	ダ	ン	ダ	ン	シ	_	を	確	保	す	る	0	ま	た

技術十 第一次試驗 模擬炫宏田紙

				_		ı	ניועי	<u> </u>	স্	<u>ー</u> レ	/ PP/	则不	1天	灰乍		11 \J	٧						_
	受験	番号		\perp									技術	術部	門:								
	問題	番号											選	択科	目:								
:	答案的	更用材	数			杪	俎		乜	忡			専門	門とす	る事	項:							
В	С	Р	を	策	定	し	`	安	全	面	に	関	わ	る	重	要	業	務	は	ア	ナ	П	グ
手	法	で	対	応	で	き	る	ょ	う	に	マ	=	ユ	ア	ル	整	備	を	行	う	と	と	£
に	`	定	期	的	な	_(13)	訓	練	を	実	施	す	る	0									
(IS	B) -	 →																					
4 .	業	務	遂	行	に	必	要	な	要	点	•	留	意	点									-
	技	術	者	倫	理	の	観	点	カュ	ら	は	`	公	衆	の	安	全	`	健	康	及	び	福
利	を	最	優	先	に	業	務	を	遂	行	す	る	٦	٤	が	必	要	な	要	点	で	あ	る
留	意	点	논	し	て	,	生	産	性	の	向	上	を	目	指	す	あ	ま	ŋ	,	安	全	性
を	犠	牲	に	す	る	٤	と	が	な	٧١	ょ	う	に	,	組	織	内	P	社	外	関	係	者
^	の	教	育	を	徹	底	す	る	0														
	社	会	の	持	続	可	能	性	の	観	点	カュ	ら	は	``	環	境	`	経	済	及	び	社
会	に	及	ぼ	す	負	の	影	響	の	最	小	化	が	必	要	な	要	点	で	あ	る	0	留
意	点	と	し	て	`	建	設	機	械	に	G	X 趸	1 核	差 を	: 拶	· ·	J	,	С	0 2	排	出	量
削	減	に	努	め	る	0	ま	た	,	生	産	性	向	上	に	よ	り	得	6	れ	た	利	益
は	人	や	社	会	に	還	元	し	`	地	域	経	済	の	発	展	に	努	め	る	0	以	上
*						ていがで								一定 一定 	水準	の論	文を	いつ	でも	ر کمنے	のよ	うな	パ
																							$\overline{}$
																							\dashv
																							\dashv
																							\dashv